

別紙

陸上自衛隊海田市駐屯地温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

陸上自衛隊海田市駐屯地

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町寿町2-1

(3) 業種

行政機関

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は平成28（2016）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から平成33（2021）年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2 方針

- グリーン購入の推進
- ボイラーの効率的な運転
- 隊員への省エネ教育の徹底
- 電気機器の適正な使用の徹底
- 空調機の適正な設定

4 温室効果ガスの排出状況(二酸化炭素換算)

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 28年度	直近年度 平成 28年度
二酸化炭素	燃料の使用 (重油, 灯油, ガス)		3, 093	3, 093
	他人から供給された電気の使用		2, 016	2, 016
合 計			5, 109	5, 109

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 23年度)	削減目標		目標年度 (平成 28年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：建物延床面積 (千㎡) 79

単位：排出量(t-CO₂) , 原単位数 (kg等) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 28年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 33年度)		
	排出量 (a)	原単位数 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	5, 109	79	64.67	5.0	4, 854	79	61.44
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	5, 109	79	64.67	5.0	4, 854	79	61.44
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	1, 881	79	23.81	5.0	1, 787	79	22.62
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位は原単位ベース年1%の削減(原単位数は駐屯地延床面積)						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料の原単位を毎年1%削減	ボイラーの負荷変動させない効率的な運転 冷暖房の適正管理
2	電気使用量の削減	電気の原単位を毎年1%削減	休憩時間の消灯の徹底 照明器具のインバーター化及びLED化 変圧器の負荷見直し及びトップランナー変圧器への更新
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

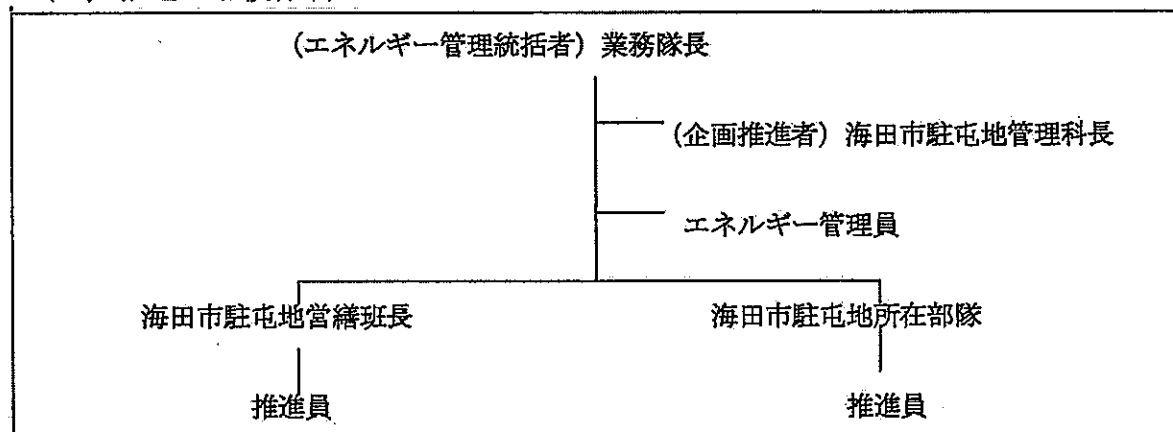
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	ドレンフィルター の最適化		還水の再利用の促進
2	日射熱の削減		日射コート、日射フィルムの導入
3	空調フィルターの 清掃		週1回フィルター清掃実施
4	建物等の新築改修時 対策		省エネ機器の導入の推進

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

温室効果ガス削減計画の取組状況の把握、点検及び問題点の検討を、生活勤務環境委員会において定期的に評価・見直し等を行い、毎年の取組状況、点検・評価等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事務所等に備え付けて閲覧する。